

# 自動車運送業の生産性向上プラン

□ 自動車運送業の担い手不足と人口減少に伴う輸送需要の減少により、過疎地域等において人流・物流サービスの持続可能性の確保が深刻な課題となっている。

➡ 自動車運送事業者が旅客又は貨物の運送に特化してきた従来のあり方を転換し、サービスの「かけもち」を可能とする。

## 現 状

### 【乗合バス】



350kg未満の荷物を運ぶことが可能  
(道路運送法第82条)

### 【貸切バス・タクシー】

旅客運送に特化

### 【トラック】

貨物運送に特化

## 活用円滑化案

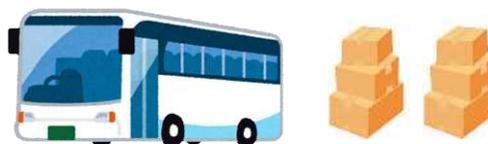
### 【乗合バス】



350kg以上の荷物を運ぶことを可能とする  
(貨物自動車運送事業の許可を取得)

※350kg未満の荷物を運ぶ場合は、今まで通り許可不要

### 【貸切バス】



荷物を運ぶことを可能とする  
(貨物自動車運送事業の許可を取得)  
※過疎地域に限る

### 【タクシー】



荷物を運ぶことを可能とする  
(貨物自動車運送事業の許可を取得)  
※過疎地域に限る

### 【トラック】



人を運ぶことを可能とする  
(旅客自動車運送事業の許可を取得)  
※過疎地域に限る

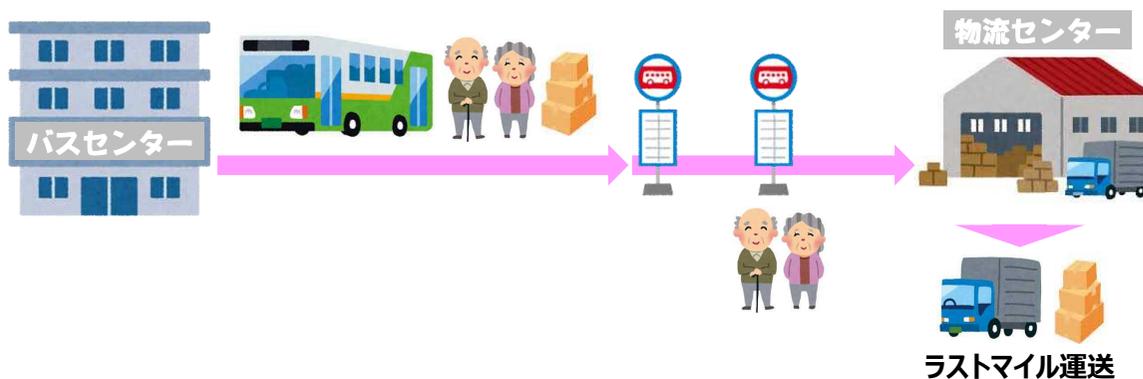
### 【自家用有償旅客運送者】



自家用有償旅客運送者が自家用自動車で350kg未満の荷物を運ぶことが可能  
(道路運送法第78条第3号の許可を取得) ※過疎地域に限る

# 貨客混載で想定されるケース

## 乗合バス



- 定期路線運行を行う乗合バスにおいて、同一方面に向かう貨物を一緒に載せ、地場のトラック事業者と共同することで、効率的な運送を実現

## タクシー



- 時間帯の需要に応じて、旅客運送・貨物運送を行い、効率的な運営を実現

## トラック



- ある2地点間で貨物を運送する際、途中経路に家がある旅客と一緒に乗車させることで、効率的な運送を実現